

初夏の女王さま

5月末から6月にかけて、甘く強い香りに誘われるように山地の小道を歩いていると、草むらの中にピンク色の可憐な花を見つけることができます。花言葉は『上品』。ササユリです。ハッとするほど美しく、丹精なその姿は正に“初夏の女王さま”といえます。

ササユリの葉は厚く、名前の由来となっているように、ササの葉によく似ています。ササと混生していると、花のつぼみが膨らむまで、まったくササユリであることが分かりません。ササユリは種子で繁殖しますが、種子が発芽し美しい花を咲かせるまでに、7～10年もの時間が必要だといわれています。「あっ！きれい！」と花を摘んでしまったその瞬間、長い時間を経てやっと開花したササユリは、子孫(種子)を残すことができず、やがて絶えてしまいます。

自生のササユリは、環境の悪化で年々減少しているようです。女王さまは何も語りません。人間の身勝手な思いで貴重な自然を壊すことのないよう心掛けていきたいものですね。



森	の
日	記

ギフチョウの観察会

4月8日(日)

自慢のカメラを携えて、遠くは東京から40数名の愛好家の人々が観察会に参加しました。生態の説明後、およそ50頭の色鮮やかなギフチョウが放たれると「おお〜」という歓声が上がり、参加者は『春の女神』の優雅な姿を写真に納めていました。



ヒツジの毛刈り

4月19日(木)

満開の桜の下、「メリー」「ショーン」「メイ」の3頭の羊が、フワフワ・もこもこの羊毛をさっぱ



りしてもらいました。遠足で訪れた小学生や家族連れの皆さんが、珍しい光景に熱心に見入り、刈ったばかりの羊毛を手を取ったり、匂いをかいだり。中には「ちょうだ〜い」とねだる子もいました。

教室のご案内

6月

- ホタル観賞会(自由参加)
6月9日(土)18:30~21:00
ホタルの生態を知り観賞(雨天中止)
- ミツバチ教室(要申込)
6月17日(日)9:00~11:30
ミツバチのはちみつ搾りを体験
- バードウォッチング(自由参加)
6月24日(日)9:00~11:30
夏の野鳥を観察(雨天中止)

7月

- 草花標本づくり教室(自由参加)
7月8日(日)9:00~11:30
植物の採集観察と標本作り
- 夏の天体教室(要申込)
7月14日(土)18:30~21:00
夏の星座の観察(雨天中止)
- バードウォッチング(自由参加)
7月29日(日)9:00~11:30
夏の野鳥を観察(雨天中止)

「陶史の森」全体図をリニューアルしました。ご希望の方は、ネイチャーセンターまで。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴をご遠慮ください。